



Canada Report

第1号 2018/10/29

10月28日（日）に湧別町を出発したカナダ派遣団が無事カナダに到着しました。現地からのレポートをお届けします。

10月28日 ◆快晴 旭川空港から出発

いよいよ出発の日がやってきました。朝、集合したみんなの顔はちょっと緊張気味。お見送りに来てくれたお母さん方に元気づけられ、ようやく笑顔が見えました。旭川空港へ向かうバスの中は朝早かったからか、緊張からなのか静かでした。旭川はきれいな青空で気持ちがいいです。飛行機も定刻でひとまずひと安心。順調な滑り出しです。このあとも、スムーズに進むことを祈って！

羽田空港に到着するとすでに疲れたとのボヤキ声も。まだ、10分の1くらいしか来てないんだけど、この先大丈夫かな？東京は冬物のコートを着てブーツを履いた私たちには暑く、ちょっと服装を間違った感じがありましたが、これからカナダに行くのでしょうがない…羽田空港で1時間の昼食休憩を取り、リムジンバスにて成田空港へ移動。



成田に着くとすぐに搭乗手続きに。自動手続きもスムーズに進むも、荷物を預けるまでに長〜い列で、結局すべての手続きが済むまでに1時間もかかりました。その後、自由時間を取りましたが、子どもたちは既にお疲れモードで、買い物もなかったようでした。保安検査場を通るときは少し緊張しましたが、特に検査を受けることもなく（大人は多少質問を受けちゃいましたが…）出国審査まで無事終了！いよいよ、日本を飛び立ちます。成



田からは大きな遅れもなく、離陸1時間後にはお待ちかねの夕食となりました。

今日の夕食はチキン or ビーフで、事前研修で練習した通りだ！と待っていたら、私たちの列は日本人のCAさんで、日本語でのオーダーになりました。なんだか、残念なようなホッとしたような（笑）

夕食はビーフもチキンも美味しかったようでちゃんと食べていたようでした。でも、みんな

な、あんまり眠れず約8時間のフライト。大人は意外と早かったねとの感想でしたが、生徒たちはちょっと疲れているようです。

バンクーバーに到着すると緊張の入国審査！今年から入国カードが廃止されて審査も日本語で出来て簡単になったと聞いていたのに、いざ、審査に進むと16歳以下は今まで通りのカードを英語で書いて審査官の質問を受けなければならないとのこと。咄嗟のことに汗だくになりながらカードを書いて、審査へ。ドキドキの瞬間でしたが、生徒たちはほぼ何も聞かれずに、通過することができました。思わぬところで時間がかかり、乗り継ぎの搭乗口までも遠かったのですが、今年は乗り換え時間がたっぷり設定されていたので、問題なく乗り継げました。乗り継ぎの時間まではランチをかねての自由時間で、初めての英語でドルを使っての買い物にちょっと楽しみながら出かけて行きました。



バンクーバー空港にて

バンクーバーからカルガリーの飛行機はかなり遅れましたが、なんとか無事について、ガイドさんにも合流！ここで、引率はホッと一息です。いつもはカルガリー空港から外にでると、ピリっとした冷たい空気に「寒いっ」となるのですが、ことしは空気があたたかくこの時期としては寒くないです。明日からもよい天気が続くことを願って！



長い、長い初日もあと少し。生徒たちは、疲れと寝不足と、車酔い／飛行機酔いに風邪気味で調子が悪そうですが、ホテルに入る頃にはお腹もすいたとのこと、まあまあ夕食も食べていました。しっかりご飯を食べて、今夜ぐっすり眠れば明日の朝には元気になるでしょう。時差ぼけにならず、明日の朝、目覚ましが鳴るまで眠れるといいのですが。



バンフでの夕食のひとコマ

明日はバンフ国立公園の見学に行きます!!